

# 鷹岡地区 生涯学習推進会

人口：12,740人 世帯数：5,215世帯（平成31年1月1日現在）



スローガン

文化向上に資する行事と学習を推進し、地域文化の振興に努めましょう  
広く社会スポーツを普及し、健康で明るい人間関係と体力づくりを推進しよう



会長 渡邊 敏

沿革

富士市の北西部に位置し、明治21年に天間・入山瀬・久沢・厚原の4村が合併し、江戸時代にこの付近に鷹ヶ丘郷があったことなどから鷹岡村と称し、旧村名は大字として残りました。その後2度にわたる分割があり現在は12町内が鷹岡小学校区です。

鷹岡村の成立に前後して、この地に日本初の本格的な抄紙機を備えた富士製紙第一工場が進出、大正8年には里和抄紙部がチリ紙の生産に入り、以降次々に家庭紙会社が稼働、紙のまち富士市の礎を築きました。

鷹岡地区には、曾我寺や曾我八幡宮・五郎の首洗い井戸・玉渡り神社・虎御前の腰掛け石など曾我物語ゆかりの名所・旧跡が数多くあります。

## 鷹岡のみどころ

鷹岡地区は、遡ること800年以上も前の人々の心を捉えて離さない曾我物語を今に伝える曾我寺や曾我八幡宮が存在するなどロマンをかきたてる歴史遺産を抱える地区です。

また、紙のまち富士市の礎となる明治23年創業の「富士製紙」（現王子エフテックス）を抜きには語れないほど「富士製紙」の操業が与えた影響は、鷹岡地区はもちろん、「その後の富士市の製紙産業の土台となっている」と言われています。

市民の憩いの場として多くの人々が訪れる富士西公園やさくら祭りの観桜場所としての潤井川左岸の桜並木は富士山をバックに鷹岡地区のビューポイントとして人気があります。

併せて、龍巖橋上段には、過去の富士山噴火で入山瀬溶岩流が長年の浸食で出現した潤井川渓谷の景観は自然美あふれるものです。



▲潤井川左岸の桜並木と富士山

## 生涯学習の活動

### 【まちづくり協議会とのかかわり】

まちづくり協議会が主催する行事は平成28年に曾我兄弟武者行列を復刻した「さくら祭り」と地域全体で子どもを育む意識を高める「通学合宿」および地域の課題について行政と懇談する「行政懇談会」があります。

生涯学習では「体育祭」「文化祭」「安全大会」の三大事業をはじめ各種スポーツ大会・県下一斉補導を主催しています。

双方の行事の実行に際しては、全面的な協力体制を築いています。

### 【鷹岡生涯学習の特色】

鷹岡生涯学習推進会は会長、副会長4人と青少年育成部、成人教育部、体育保健部、安全教育部及び総務部、庶務の構成です。会長、副会長は区長会の推薦と総会の承認。各専門部の部員は12町内の区長が選任し各々部長、副部長は互選のシステムで任期1年、再任を妨げない規約を設けています。当会の特色は、会員のおよそ8割がボランティア活動に共感し留任しています。半面、人事の刷新が滞っていることが課題となっています。

総務部は、各々事業の受付と接待を担当。庶務は全体会議の案内状や会長が依頼した資料づくりを行っています。

## 青少年育成部

青少年育成部は、夏休み、冬休みに入る前に関係団体による夜間巡回の県下一斉街頭補導や社会を明るくする運動での「朗読と講演の夕べ」の主導やまちづくり協議会が主催する通学合宿への協力を行っています。

体育祭、文化祭、安全大会等の行事を中心に子ども達や青少年の健全育成、安全確保を他部との協力体制を強固にして進めています。

少子高齢化が現実の問題となっていますが、地域の皆様と心をつなげて、青少年を温かい心で育てていきたいと思っております。

年度末には、まちづくり協議会主催の「さくら祭り」の舞台の設営、進行係を担当しています。



▲「さくら祭りの舞台」

## 成人教育部

毎年10月第3土・日曜日にまちづくりセンターで行う地区文化祭を担当しています。区民の皆様への文化・芸術の交流場として展示と舞台発表の場を設けています。また、お茶席や多くの模擬店が出店し文化祭を飾っています。プログラム最後の大抽選会は、文化祭を締め上げる行事として、大変な賑わいを見せています。

もう一つの事業として、20年続けている研修旅行があります。区民を対象とした県内外の美術館めぐりが好評です。



▲第47回文化祭舞台発表

## 体育保健部

区民の皆様への社会スポーツの普及活動を狙いにファミリーバドミントン、インディアカ等の各種スポーツ教室を毎週、鷹岡中学校体育館で実施しています。併せて年間を通じて各々スポーツ大会も開催しています。特に年度末に行うインディアカナイターリーグは天間小、鷹岡小、鷹岡中のPTAと生涯学習がコラボし2ヶ月にわたるリーグ戦を通して相互の親睦を図っています。

毎年10月第1日曜日に鷹岡中学校で行う地区体育祭は体育保健部の一大イベントです。子どもから高齢者までが参加できるプログラムと団体パフォーマンスを組み入れ、参加して楽しい、見ても楽しめる体育祭の運営に努めています。



▲第62回体育祭

## 安全教育部

春、秋の全国交通安全運動、夏、冬の県民交通安全運動に、各種団体と共に参加している他、地区体育祭や文化祭での場内外の駐車場管理、歩行者の安全確保を行っています。

毎年11月の第1日曜日には、各種団体の協力を得て地区を挙げての安全大会を企画・運営しています。「交通安全・防火・防犯・防災・青少年健全育成」への思想の高揚に努め、安全・安心の地域づくりの一役を担っています。



▲第39回安全大会